

WEB 上でのことわざ探求: 人々が何を知りたいのか

北澤 篤史

1 はじめに

本発表では、WEB 上でのことわざの検索動向に焦点を当て、人々の興味や関心を解析する。調査期間は 2022 年 10 月から 2023 年 9 月までの一年間で、Google キーワードプランナーを活用した。キーワードプランナーとは、広告を掲載するための入札単価やキーワードごとの月間検索数(検索ボリューム)などを調査できる Google 公式のツールである。特に、季節性を持つことわざに関する動向は Googleトレンドを使用し、その時期やイベントとの関連性を探る。

さらに、私が運営する WEB サイト「ことわざ・慣用句の百科事典(<https://proverb-encyclopedia.com/>)」のデータをもとに、まとめ記事や一覧ページの人気、そして学校教育との連携についても分析する。本発表を通じて、現代のユーザーが WEB 上でどのような情報を求めているのか、どのような動きを見せているのかを明らかにする。

2 キーワードプランナーによることわざの検索動向

過去一年間(2022 年 10 月から 2023 年 9 月)の Google キーワードプランナーのデータを基に、私が運営している「ことわざ・慣用句の百科事典」より、4788 個の各ことわざの検索ボリュームやその推移を分析した。その中で、月間検索ボリュームが 10 回以上あるものが 2435 個となっている。

「天上天下唯我独尊」が 49500 回と最も多く検索されたことわざであり、前年比で 83%増と大きく伸びている。これは、このことわざが現代においても非常に関心が高いことを示している。

一方で、「杜撰」は前年比で-33%と検索回数が大きく減少している。これは、この言葉の関心が低下している、もしくは他の情報源や表現が増加していることが考えられる。

2023 年(令和 5 年)7 月 16 日から 9 月 17 日まで、TBS 系「日曜劇場」枠で放送されたテレビドラマ『VIVANT』の一場面で取り上げられた「眼光紙背に徹す」と「皇天親無く惟徳を是輔く」の検索回数が急上昇した。特に「眼光紙背に徹す」は前年比で驚異的な 4850%増を記録し、「皇天親無く惟徳を是輔く」も前年からの検索回数が飛躍的に増加した。これは、人気ドラマが持つ情報の拡散力と、それに対する人々の好奇心の強さを示している。

3ヶ月の推移を見ると、多くのことわざが 0%と変動がない中で、「梁山泊」は 50%増と伸びており、「太公望」は-33%と減少している。このような変動が生じた背景については、特定の出来事やトピックが影響していると考えられる。

全体として、古くからのことわざも現代において多くの人々に検索されていることがわかる。一方で、その検索動向は年々、また月々で変動しており、社会的な出来事や文化の流れと密

接に関連していることが伺える。今後もことわざの検索動向は、その時代時代の関心や文化の反映として注目されるであろう。

3 季節性を持つことわざの検索動向

ことわざにはその内容や意味が特定の季節や時期に関連するものが多い。そのため、その季節や時期が近づくと、関連することわざへの関心や検索が増えることが多い。

例えば、「秋茄子は嫁に食わずな」は秋の季節に関連し、9月になるとこのことわざへの検索数が増加することが多い。同じく、「暑さ寒さも彼岸まで」は彼岸の期間、特に春と秋に該当する時期に関連し、9月に検索がピークになる。さらに、「一富士二鷹三茄子」は新年に関連することわざで、1月初めにはこのことわざへの検索が劇的に増える。

しかし、すべてのことわざがこのような季節性のトレンドを持つわけではない。「花より団子」は春の花見のシーズンに関連するイメージが強いが、実際には年間を通じてこのことわざへの検索がある程度均等に行われている。これは、このことわざが非常に知られており、特定の季節に限らず多くの人々に利用されているからだと考えられる。

4 まとめ記事はことわざ単体よりも圧倒的に人気がある

ユーザーがことわざ関連のサイトを訪れる際、単一のことわざや慣用句の検索よりも、「有名なことわざ 100 選」などのまとめ記事や一覧ページへのアクセスが多い。この背後には、ユーザーが一つの知識を得るのではなく、多岐にわたる知識を吸収したいという欲求があると思われる。また、まとめ記事は一度に多くの情報を得られるため、効率的な学びとしても注目されている。

5. 学校教育との連携

デジタル化が進む中、学校教育の現場でも WEB サイトを活用するケースが増えている。私が運営している「ことわざ・慣用句の百科事典」も、その一部として教材として取り入れられており、特に 11 月から 12 月にかけてのアクセス増はその影響が大きい。

6. おわりに

本発表を通じて、WEB 上のことわざの検索動向やユーザーの興味・関心を探った。現代のユーザーは知識を得るだけでなく、広範囲の情報を効率よく学びたいという傾向があり、まとめ記事や一覧ページの人気を示している。また、社会的出来事や文化の流れがことわざの検索動向に大きく影響しているのも確認できた。特にメディアの情報拡散力は、ことわざや慣用句の検索回数に劇的な変動を持たらす要因として注目だ。学校教育との連携で、サイトが多くの人に有益な教材として利用されることを実感した。デジタル化が進む今、古典的なことわざや慣用句も新しい形で受け継がれることを期待している。